

26年度 厚生文化事業助成金

10団体に155万円

高知新聞厚生文化事業団は、2026年度(4月～27年3月)の事業助成を10件155万円にすることを決めました。県民の福祉や芸術文化の振興などに貢献している各種事業を支援します。18件の申請があり、選考委員会の意見に基づき理事会で選考した結果、次の助成を決定しました。

(順不同)
(20面||活動内容紹介)

- ◆ 特定非営利活動法人高知県断酒連合会(高知市)15万円
- ◆ こうち赤い鳥の会(高知市)15万円
- ◆ 高知県高坂学園生涯大学(高知市)10万円
- ◆ 高知バツハカンタータフェライン(高知市)20万円
- ◆ TOMOはうす(いの町)15万円
- ◆ 土佐中村一條太鼓(四万十市)20万円
- ◆ 四国フィルハーモニー管弦楽団(日高村)20万円
- ◆ 高知県独立書人団(高知市)20万円
- ◆ 高知県作文の会(土佐市)10万円
- ◆ Klavier♪(クラヴィーア)(高知市)10万円

(公財)高知新聞厚生文化事業団

高知県高坂学園生涯大学



特殊詐欺防止の寸劇を楽しむ学生ら(高知市葛島4丁目の市東部健康福祉センター)

高齢者の生きがいの場

「おじいちは大学で勉強し員の特殊詐欺防止の寸劇でよるぞ。お前も頑張れって盛り上がり、弁当を食べた高校生の孫に自慢できる」。後は修了式後の宴に向けて県高坂学園生涯大学(奥田一雄学長)に通って18年に合唱などを練習した。同大学の渡辺泰方・運営委員(87)は「ミニスカートのをはき、ピンク・レディは鼻高々だ」。

高齢者に生きがいを持つ「を歌うグループもありまてもらおうと1982年にすよ」とにっこり。「こは開校。60歳以上が入学で高齢者の居場所。年を忘れき、2025年度は最高齢で青春し健康寿命延伸、孤99歳、平均79歳の60人が在 独対策になっている」。

籍。月2回、歴史や健康、学費は7千円で入学は随時問題などを学び、研修時、見学も可。8月には広く活動を知ってもらおうと旅行もある。

3月、J組最後の講義に高知市で公開講座を開く。

は約100人が出席。高知東署(加治屋隆文)

【高知県高坂学園生涯大学】高齢者の生きがいの場

「おじいは大学で勉強しよるぞ。お前も頑張れって高校生の孫に自慢できる」。県高坂学園生涯大学（奥田一雄学長）に通って18年になる琴寄学さん（86）＝高知市＝は鼻高々だ。

高齢者に生きがいを持ってもらおうと1982年に開校。60歳以上が入学でき、2025年度は最高齢99歳、平均79歳の640人が在籍。月2回、歴史や健康、時事問題などを学び、研修旅行もある。



特殊詐欺防止の寸劇を楽しむ学生ら（高知市葛島4丁目の市東部健康福祉センター）

3月、J組最後の講義には約100人が出席。高知東署員の特殊詐欺防止の寸劇で盛り上がり、弁当を食べた後は修了式後の宴（うたげ）に向けて合唱などを練習した。

同大学の渡辺泰方・運営委員長（87）は「ミニスカートをはき、ピンク・レディーを歌うグループもありますよ」とにっこり。「ここは高齢者の居場所。年を忘れて青春し健康寿命延伸、孤独対策になっている」

学費は7千円で入学は随時、見学も可。8月には広く活動を知ってもらおうと高知市で公開講座を開く。（加治屋隆文）